

長居公園で観察された生き物調査報告書 コース No.25

報告者:北川ちえこ

日 時:2017 年 4 月 16 日(日)10:00～15:30 晴れ

調査者:北川ちえこ、忍喜博、中谷憲一、榎元慶子(4 名)、一般参加者 2 名

事務局:堤康郎

コース:地下鉄「長居駅」～長居公園～臨南寺～長居公園・郷土の森～長居植物園:マップ No.2,3,4,5

新年度の行事の広報が行き届かない中、先月一般で参加された方がおひとり来られました。これからは継続して来たいと言われました。何年かに一度、このような野草の好きな方が来られますが、うれしい限りです。エコボランティアが始まって 3 年経ち、32 コースの市内調査が一巡し、長居は 2 巡目としては初めてのコースとなりました。3 年前に臨南寺で見た、シイの古樹の枝を垣根として利用している姿を、みなさんに見ていただきたくて楽しみにしていました。ところが、その古樹が無くなっていました。入口の整備の為に、取り除いたということで跡形もありませんでした。つい最近、石切神社の近く(古く以前は石切神社の鎮守の森では?)にあった古樹のアキニレが、何かの苦情なのか伐られたと聞いたばかりでしたので、それを思い出して心が痛みました。しかし、このお寺には、まだ古老のシイや若木に更新中の樹木があり、希少な自生樹として残って欲しいと思いました。長居公園は、サッカーの大阪チーム同士の対決で大変な人出でした。その騒ぎに驚いたのか、人の少ない植物園内にはスズメはもちろん、オオルリ、キビタキ、クロツグミなど多種の野鳥が見られました。そのほか、花や新緑にあふれ、昆虫も多く見られ、特にトネリコやザイフリボクやケヤキなどの樹木の、普段見ることが難しい花を見ることができ、楽しかったです。

植物、昆虫等虫類、鳥の状況を数字で表示します。

1:葉、卵 2:花、幼虫、幼鳥 3:果実、蛹 4:実生、成虫、成鳥 0:その他 植:植栽

※実生は 150cm までを 4 と表示しそれ以降は通常の状態番号とします。

※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録した。

※2 分の 1 地域メッシュコード(総務省)で分割し、そのコード番号の横()内に記載した No. は旧「みどり」と生き物会議」で使った大阪市域 500m メッシュナンバーである。

※植物科名は 2017 年度より新エングレー体系から APG 体系に変更した。

メッシュ No.513574213(905)

地下鉄「長居駅」～長居公園ゲートボール場西側草地～あびこ筋歩道

イネ科…スズメノカタビラ 2

オオバコ科…オオイヌノフグリ 2、タチイヌノフグリ 2

カタバミ科…カタバミ 2

キク科…セイヨウタンポポ 2、メリケンキンソウ 2

シソ科…ホトケノザ 2

タデ花…スイバ 1

ナデシコ科…オランダミミナグサ 2

ツバキ科…サザンカ sp2(植、タチカンツバキ?)

フウロソウ科…アメリカフウロ 2

マメ科…シロツメクサ 1

ムラサキ科…キュウリグサ 2

動物…スズメ 4、ツバメ 4、ドバト 4、ハシブトガラス 4、

ムクドリ 4、メジロ 4、アゲハ 4、ビロードサシガメ 4、モンシロチョウ 4



長居公園南西の入口付近で講座の解説。

170416 撮影 榎元慶子

メッシュ No.513574311(875)

あびこ筋歩道～長居障がい者スポーツセンター南歩道～臨南寺

アサ科…エノキ 4
 イネ科…メリケンカルカヤ 1(立枯れ)
 オオバコ科…タチイヌノフグリ 2
 カタバミ科…オッタチカタバミ 2、ムラサキカタバミ 1
 キク科…ノゲシ 1
 キキョウ科…ヒナキキョウソウ 1
 ツゲ科…ボックスウッド 1(植)
 ツツジ科…ヒラドツツジ 1(植)
 ゴクラクチョウカ科…ゴクラクチョウカ 2(植)
 バラ科…カナメモチ 1(植)、ユキヤナギ 2(植)
 ブナ科…アラカシ 1(植)、4(街路樹ボックスウッドから)
 マメ科…カスマグサ 2、カラスノエンドウ 2、
 スズメノエンドウ 2
 モクセイ科…トウネズミモチ 4(街路樹ボックスウッドから)
 動物…スズメ 0 声、シジュウカラ 0 声、アゲハ 4、
 アシブトハナアブ 4、キムネクマバチ 4、ソラマメヒゲナガアブラムシ 2、4、ムネアブラムシ族の一種 4、
 モンシロチョウ 4



長居公園では、サッカーの競技場へ行く人達ばかりの中、臨南寺の樹木林をのぞきこむ調査チームはちょっと異質だったかもしれません。

170416 撮影 北川ちえこ



左からスズメノエンドウ、カスマグサ、カラスノエンドウ
 障がい者スポーツセンター南側道路の植え込みの中に。
 4月だからできる3種比較 170416 撮影 榎元慶子



ソラマメヒゲナガアブラムシがびっしり。
 左写真のカラスノエンドウに。
 アブラムシは植物を選び、なぜかエンドウヒゲナガよりソラマメヒゲナガが多いそうです。

170416 撮影 榎元慶子



臨南寺:2014年調査(左 141116 撮影)では、スタジイの古樹とその枝は垣根に利用されていました。
 今回、その古樹の跡形もありませんでした(右)。170416 撮影 北川ちえこ

メッシュ No.513574312(876)

長居運動場北側歩道～郷土の森

アカネ科…ヤエムグラ 2

アブラナ科…カラクサナズナ 2、スカシタゴボウ?1、ナズナ 2,3、マメグンバイナズナ 2,3

イネ科…イヌムギ 2、カモジグサ 2、スズメノカタビラ 2

オオバコ科…オオバコ 1、キンギョソウ 2(植)、

タチイヌノフグリ 2、フラサバソウ 2

カタバミ科…カタバミ 2、ムラサキカタバミ 2

キク科…ウラジロチチコグサ 1、オニタビラコ 2、

セイヨウタンポポ 2、ノゲシ 1、マメカミツレ 2、

ユリオプスデージー 2(植)

シソ科…ホトケノザ 2、ローズマリー 2(植)

スミレ科…サンシキスミレ 2(植)

セリ科…ヤブジラミ 1

タデ科…アレチギシギシ 1、スイバ 2

ナス科…ワルナスビ 3

ツツジ科…エリカ 2(植、ジャノメエリカ?)

ナデシコ科…オランダミミナグサ 2、ツメクサ 2、

ミドリハコベ 2,3

ハエドクソウ科…トキワハゼ 2

バラ科…サトザクラ 2(植)、ソメイヨシノ 2(植)、

ユキヤナギ 2(植)

ヒルガオ科…アオイゴケ 1

フウロソウ科…アメリカフウロ 2

マメ科…コメツブツメクサ 2、シロツメクサ 1,2

ムラサキ科…キュウリグサ 2

動物…シジュウカラ 0 声、シロハラ 4、ドバト 4、
ハシブトガラス 0 声、ハシボソガラス 4、ムクドリ 4、
メジロ 0 声(さえずり)、アゲハ 4、キムネクマバチ 4、
クスベニヒラタカスミカメ 0 食痕、ベニシジミ 4、
ヒロヘリアオイラガ 2(繭)、マツカレハ 0 羽化後の繭、
モンシロチョウ 4、ヤマトシジミ 4



郷土の森にはクスノキが多くあり、クスベニヒラタカスミカメの食痕のある落ち葉が目立ちました。クスノキは春に古い葉を落とすので、これは昨年の春から秋にカメムシの被害を受けた葉です。170416 撮影 榎元慶子



道路の向こうでは何万人というサッカーファンがいましたが、郷土の森の中は、うそのように静かでした。

170416 撮影 北川ちえこ



トキワハゼ(左)、ツメクサの小さな花(右上)、ウラジロチチコグサも蕾(右下)を出そうとしていました。足もとにも4月があふれています。

170416 撮影 榎元慶子



郷土の森の木陰の中 170416 撮影 北川ちえこ

メッシュ No.513574214(906)

長居植物園・大池西あずまや

イネ科…スズメノカタビラ 2

キク科…チチコグサモドキ 1、ノゲシ 1、

マメカミツレ 2、メリケントキンソウ 2

シソ科…ヒメオドリコソウ 2

ナデシコ科…コハコベ 2,3

マメ科…コメツブツメクサ 2、シロツメクサ 1

ムラサキ科…キュウリグサ 2

動物…コブハクチョウ 4(飼育?)、シジュウカラ 0 声、

ダイサギ 4、ツバメ 4、メジロ 4、

ミシシippアカミミガメ 4



ウマノアシガタ:他の公園ではあまり見かけません。

170416 撮影 北川ちえこ



メリケントキンソウとマメカミツレはパッと見た目はそっくりで、特に花が無い出たての時期は見分けが付きにくく、悩みの種でした。今回、持ち帰り、葉を1枚ずつとりましたら、両者の違いがよく分かりました。170416 撮影 北川ちえこ



メリケントキンソウ:葉がよく似たマメカミツレも一緒に生えていました。

170416 撮影 北川ちえこ



マメカミツレに似ているカラクサナズナ。これは臭いで区別できます。郷土の森:170416 撮影 榎元慶子



マメカミツレの花 170416 撮影 榎元慶子



ワルナスビの果実 170416 撮影 北川ちえこ



大池には、ハスの葉はまだ出ておらず、コブハクチョウがいました。170416 撮影 北川ちえこ

メッシュ No.513574312(876)

大池北西外周

アカネ科…ヤエムグラ 2

アブラナ科…ナズナ 3

イラクサ科…カラムシ 1

オオバコ花…オオイヌノフグリ 2、ツボミオオバコ 2、フラサバソウ 2

カタバミ科…アカカタバミ 2、ムラサキカタバミ 2

キク科…ウスベニチチコグサ 2、ウラジロチチコグサ 1、

オニタビラコ 2、セイヨウタンポポ 2、ノゲシ 2、ヨモギ 1

キョウチクトウ科…ツルニチニチソウ 2(植)

キンボウゲ科…ウマノアシガタ 2

シソ科…ヒメオドリコソウ 2、ホトケノザ 2

タデ科…アレチギシギシ 1

ナデシコ科…オランダミミナグサ 2、コハコベ 2,3、ミドリハコベ 2

バラ科…ヘビイチゴ 2

ヒガンバナ科…スイセン 1(植)、ノビル 1、ハナニラ 2(植)



サクラの品種は多様で、花の時期もまちまちですが、蜜腺の場所も種によりまちまちです。このサクラには葉身にも葉柄にもありますが交配種でしょうか。

はたして実はあるか？ 170416 撮影 榎元慶子



左右合成写真:中央の柵から池を見る子どもは、同じ子です。短い間にダイサギ(左)、コブハクチョウ2羽(右)が交替で柵に近寄っていました。170416 撮影 榎元慶子



ダイサギに近づいて、くちばしや目の周りの特徴を詳しく確認して、確定しました。

170416 撮影 榎元慶子

フウロソウ科…アメリカフウロ 2
 ブナ科…クヌギ 2(植)
 マメ科…カラスノエンドウ 2、コメツブツメクサ 2
 ミズキ科…ハナミズキ 2(植)
 ムラサキ科…キュウリグサ 2
 モクセイ科…トネリコ 2(植)
 動物…カワラヒワ 4、キビタキ 4、ドバト 4、ヒヨドリ 4、
 オオキンカメモシ 4、クロアゲハ 4、ダンダラデントウ 4、
 ホソヘリカメモシ 4、コシロガネグモ 4



オオキンカメモシ 170416 撮影 榎元慶子



ツボミオオバコの花が咲いていました。
 170416 撮影 北川ちえこ



大池の島の縁にコガモたちが休息していました。
 他の冬のカモたちに遅れて、北に帰るそうです。
 170416 撮影 榎元慶子



大池の北側には、ハスが葉を広げ、バンやオオバン、ミ
 シシippアカミガメが、見え隠れしていました。
 170416 撮影 榎元慶子

メッシュ No.513574321 (877)
 大池外周～シャクナゲ園～ツツジ山
 アブラナ科…ナズナ 3、ミチタネツケバナ 2,3
 イグサ科…スズメノヤリ 2
 イネ科…イチゴツナギ?1、スズメノカタビラ 2、スズメノテッポウ 2
 ウコギ科…ノチドメ 1
 オオバコ科…ムシクサ 2

カタバミ科…カタバミ 2

キク科…ウラジロチチコグサ 1、チチコグサモドキ 1、ノゲシ 2、
ヒメジョオン 1、メリケントキンソウ 2、ヨモギ 1

キンボウゲ科…キツネノボタン 2

セリ科…セリ 1、ヤブジラミ 1

タデ科…ギシギシ 1

ツツジ科…セイヨウシヤクナゲ? 2(植)、ヒラドツツジ 2(植)

トクサ科…スギナ 1

ナデシコ科…ミドリハコベ 2,3

バラ科…ウメ 3(植)、ザイフリボク 2(植)、ヘビイチゴ 2

ハエドクソウ科…ムラサキサギゴケ 2

ブドウ科…ヤブガラシ 1

ベンケイソウ科…コモチマンネングサ 1

マメ科…アレチヌスビトハギ 1、ウマゴヤシ 2、
コメツブツメクサ 2

ヤナギ科…カロリナポプラ 2(植)

動物…オオバン 4、カイツブリ 4、カルガモ 4、キビタキ 4、
コガモ 4、バン 4、ヒヨドリ 0 声、マガモ 4、ミシシippアカミミガメ 4
オオワラジカイガラムシ 4、キタキチョウ 4、ベニシジミ 4、
ムラサキシジミ 4、ヤマトシジミ 4 大池



ザイフリボクが満開でした。

170416 撮影 樹元慶子



長居公園も、カシナガキクイムシの被害にあっているのか、幹に駆除対策が施されている樹木がありました。170416 撮影 樹元慶子



オオワラジカイガラムシが、キクイムシ防護とみられるネットの上をよじ登っていました。結構よく歩きます。

170416 撮影 樹元慶子



キツネノボタン

170416 撮影 北川ちえこ

万葉のみち

アカテツ科…ミツマタ 2(植)

アジサイ科…ウツギ 1(植)、ヤマアジサイ 1(植)

アブラナ科…ミチタネツケバナ 2,3

アヤメ科…ヒオウギ 1

イネ科…ススキ 1(植)、スズメノカタビラ 2

オオバコ科…タチイヌノフグリ 2

カタバミ科…カタバミ 1

キク科…ウラジロチチコグサ 1、オニタビラコ 1、
セイヨウタンポポ 2、チチコグサモドキ 1、ノジギク 1(植)、
ヒメジョオン 1、マメカミツレ 2

キョウチクトウ科…テイカカズラ 1(植)



カレハガの一種の幼虫が、マユミの葉の上いました。頭部は見えていません。

170416 撮影 樹元慶子

サカキ(ペンタフィラクス)科…サカキ 1(植)
 ススキノ科…ヤブカンゾウ 1(植)
 タデ科…アレチギシギシ 1
 ツツジ科…アセビ 2(植)、コバノミツバツツジ 2(植)
 ツバキ科…ヤブツバキ 2(植)
 ニシキギ科…マユミ 1(植、蕾)
 フウロソウ科…アメリカフウロ 1
 ムラサキ科…キュウリグサ 2
 動物…スズメ 4、セグロアシナガバチ 4、
 カレハガの一種 2、マルハナバチの一種 4、
 ヤドリバエの一種 4

雑木林

アブラナ科…ムラサキハナナ 2(植)
 イネ科…スズメノカタビラ 2
 キンボウゲ科…ウマノアシガタ 2
 シソ科…ヒメオドリコソウ 2
 スミレ科…スミレ sp2
 ナデシコ科…コハコベ 2,3、オランダミミナグサ 2
 ニレ科…ケヤキ 2(植)
 バラ科…ヘビイチゴ 2、ボケ 2(植)
 ブナ科…コナラ 2(植)
 マメ科…カラスノエンドウ 2
 マンサク科…マンサク 3(植)、ロドレイア 2(植)
 動物…オオルリ 4、キビタキ 4



キビタキを探したけれど見当たらず。

170416 撮影 榎元慶子



来園者が撮影した画像を見せていただきました。

キビタキ: 170416 撮影 榎元慶子



ケヤキ:ケヤキの花は見るのが難しく、今回枝が垂れ下がって手が届くところにあり、見る事ができました。

雄花、雌花の両方が、なんとか写真に撮れてラッキーでした。170416 撮影 北川ちえこ

メッシュ No.513574223 (907)

雑木林

カタバミ科…カタバミ 1
 キク科…ウラジロチチコグサ 1、セイヨウタンポポ 2、
 メリケンキンソウ 1

シソ科…ホトケノザ 2
 ナデシコ科…コハコベ 2,3、オランダミミナグサ 2
 バラ科…ボケ 2(植)
 ブドウ科…ヤブガラシ 1
 マメ科…カラスノエンドウ 2
 動物…スズメ 4

ジャーマンアイリス園～ハーブ園～照葉樹林

カタバミ科…オオキバナカタバミ 2
 キク科…セイヨウタンポポ 2
 キンボウゲ科…キツネノボタン 2
 (地をうようにマット状に広がっていた)
 セリ科…ヤブジラミ 1
 ノウゼンカズラ科…キササゲ 3(植)
 ハエドクソウ科…トキワハゼ 2
 動物…カワラヒワ 4、クロツグミ 4、ツグミ 4、ムクドリ 4、モンシロチョウ 4、クスベニヒラタカスミカメ 0 食痕



雑木林で鳥の姿を追いかけてきました。
 170416 撮影 北川ちえこ



オオルリの姿を確認；雑木林
 170416 撮影 中谷憲一



ムクドリ(左)とツグミ(右) 170416 撮影 榎元慶子



フラサバソウ(左上)、キュウリグサ(右上)
 タチイヌノフグリ(左下)、ウスベニチチコグサ(右下)
 いずれも目立たず通り過ぎてしまいそうですが、
 5月になれば背丈を越す草々が繁茂してくるので、
 4月は、ルーペで見えるような小さな花々を調べる
 チャンスでもあります。フラサバとは、植物学者フランチェ
 ットとサバチエル両氏からとった名前であることも、この日
 の学習のひとつです。 170416 撮影 榎元慶子



場所によって時によってみられる種は違いますが、
 互いに確認しながら歩き進むと、その日によく出てくる
 種名がわかり、次第に頭に入ってきて、記録できるよう
 になります。よく似た種を見分けるポイントと、生育
 する環境の差も学ぶことができます。

170416 撮影 榎元慶子